

JP2001128204A

Publication Title:

MOBILE COMMUNICATION TERMINAL AND HAND-OVER CONTROL METHOD

Abstract:

Abstract of JP 2001128204

(A) PROBLEM TO BE SOLVED: To attain battery saving by decreasing unnecessary processing in hand-over control. SOLUTION: First a measurement section 106 measures a reception SIR of a control channel signal assigned to a sector selected at present according to information denoting the selected sector stored in a selection sector storage section 107. Then a comparison 108 compares the received SIR with a prescribed threshold of the received SIR stored in a storage section 109. Furthermore, only when the received SIR is lower than the prescribed threshold, the measurement section 106 measures received SIR of a plurality of control channel signals and a selection section 110 selects the control channel signal denoting the highest received SIR among the measured set of the received SIR.

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-128204
(P2001-128204A)

(43) 公開日 平成13年 5 月11日 (2001. 5. 11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 Q 7/22		H 0 4 B 7/26	1 0 7 5 K 0 6 7

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

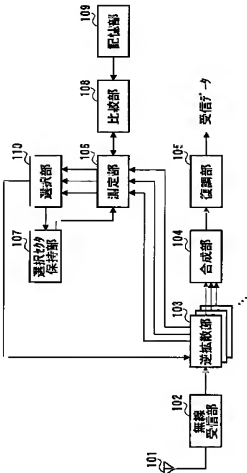
(21) 出願番号	特願平11-305398	(71) 出願人	000003821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22) 出願日	平成11年10月27日 (1999. 10. 27)	(72) 発明者	金本 英樹 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内
		(72) 発明者	加藤 修 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内
		(74) 代理人	100106050 弁理士 鷲田 公一 Fターム (参考) 5K067 AA43 CC10 CC21 EE02 EE46 FF02 FF16 HH22 HH23 JJ52 JJ54 JJ71 KK15

(54) 【発明の名称】 移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法

(57) 【要約】

【課題】 ハンドオーバー制御における不要な処理を減少させてバッテリーセービングを図ること。

【解決手段】 まず、測定部106が、選択セクタ保持部107に保持されている選択セクタを示す情報に従って、現在選択しているセクタに割り当てられた制御チャネル信号の受信SIRを測定する。次いで、比較部108が、その受信SIRと記憶部109に設定された受信SIRの所定のしきい値とを比較する。そして、その受信SIRが所定のしきい値よりも低くなった場合にのみ、測定部106が、複数の制御チャネル信号の受信SIRを測定し、選択部110が、測定された受信SIRのうち最大の受信SIRを示す制御チャネル信号を選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 複数の制御チャネル信号の受信品質を示す値を測定する測定手段と、測定された受信品質を示す値と比較し、受信品質を示す値が最大となる制御チャネル信号を選択する比較選択動作を行う比較選択手段と、選択結果に従って受信信号に対して逆拡散処理を行う逆拡散手段と、を具備し、比較選択手段は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上にある場合には、比較選択動作を行わないことを特徴とする移動体通信端末装置。

【請求項２】 測定手段は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上にある場合には、測定頻度を減少させることを特徴とする請求項１記載の移動体通信端末装置。

【請求項３】 待ち受け時に動作することを特徴とする請求項１または請求項２記載の移動体通信端末装置。

【請求項４】 測定手段は、各セクタごとに割り当てられた固有の拡散コードによって拡散されている制御チャネル信号の受信品質を示す値を測定することを特徴とする請求項１から請求項３のいずれかに記載の移動体通信端末装置。

【請求項５】 現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値より小さくなった場合にのみ、複数の制御チャネル信号の受信品質を測定して、受信品質を示す値が最大となる制御チャネル信号を選択することにより、選択された制御チャネル信号が割り当てられているセクタへハンドオーバーすることを特徴とするハンドオーバー制御方法。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法に関する。

【０００２】

【従来の技術】従来のハンドオーバー方法では、移動局は、所属するセルの基地局から送信される制御チャネル信号の受信品質と、隣接セルの基地局から送信される制御チャネル信号の受信品質とを比較し、受信品質が良い方の基地局を選択するようにハンドオーバーを行う。また、移動局は、同様の方法で、セクタごとに割り当てられた制御チャネル信号の受信品質を比較することによって、セクタ間におけるハンドオーバーを行う。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のハンドオーバー方法には、以下の問題がある。以下、従来のハンドオーバー方法の問題について図７および図８を用いて説明する。図７は無線通信システムのセルおよびセクタの概念図であり、図８は従来のハンドオーバー方法における制御チャネル信号の受信レベルの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図である。

【０００４】図７において、セル１１には、基地局１３

が存在する。また、セル１１は、セクタ１～３の３つのセクタに分割されている。そして、今、移動局１２は、基地局１３の十分近傍で、セクタ１とセクタ２との境界付近に位置する。この場合、移動局１２は、セクタ１に割り当てられた制御チャネル信号（以下、「セクタ１の信号」という。）とセクタ２に割り当てられた制御チャネル信号（以下、「セクタ２の信号」という。）の両者を十分に高いレベルで受信可能である。

【０００５】ここで、一時的な伝搬環境の変動により、現在選択しているセクタに割り当てられている制御チャネル信号の受信品質が一時的に劣化する場合がある。この一時的な伝搬環境の変動により、移動局１２は、現在選択しているセクタに割り当てられている制御チャネル信号を十分に高いレベルで受信可能であるにも拘わらず、選択するセクタが図８に示すように刻々変化してしまう。

【０００６】具体的には、図８に示すように、時刻ｔ２、ｔ４において、一時的な伝搬環境の変動によりセクタ１の信号の受信レベルが低下し、セクタ２の信号の受信レベルがセクタ１の信号の受信レベルより高くなった場合、移動局１２は、現在選択しているセクタ１の信号を十分に高いレベルで受信可能でありハンドオーバーが不用であるにも拘わらず、セクタ２へハンドオーバーしてしまう、という問題がある。

【０００７】また、移動局１２は、現在選択しているセクタ１の信号を十分に高いレベルで受信可能であるにも拘わらず、ｔ１～ｔ４の所定のタイミングにおいてその都度、セクタ２の信号を受信し両者の受信レベルを比較してセクタを選択するという、無駄な動作を行っている、という問題がある。

【０００８】本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、ハンドオーバー制御における不要な処理を減少させてバッテリーセービングを図ることができる移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法を提供することを目的とする。

【０００９】

【課題を解決するための手段】本発明の移動体通信端末装置は、複数の制御チャネル信号の受信品質を示す値を測定する測定手段と、測定された受信品質を示す値と比較し、受信品質を示す値が最大となる制御チャネル信号を選択する比較選択動作を行う比較選択手段と、選択結果に従って受信信号に対して逆拡散処理を行う逆拡散手段と、を具備し、比較選択手段は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上にある場合には、比較選択動作を行わない構成を採る。

【００１０】この構成によれば、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値よりも小さくなった場合にのみ比較選択動作を行うため、現在受信している制御チャネル信号が十分な受信品質を保

っている間は比較選択動作が行われないうので、無駄な選択動作および不要なハンドオーバーが行われなくなり、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0011】本発明の移動体通信端末装置は、測定手段は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上にある場合には、測定頻度を減少させる構成を採る。

【0012】この構成によれば、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上の場合には、次のタイミング以降の所定の回数、制御チャネル信号の受信品質を測定しないため、さらに、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0013】本発明の移動体通信端末装置は、待ち受け時に動作する構成を採る。

【0014】この構成によれば、待ち受け時に動作するため、アイドルハンドオーバー時において、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0015】本発明の移動体通信端末装置は、測定手段は、各セクタごとに割り当てられた固有の拡散コードによって拡散されている制御チャネル信号の受信品質を示す値を測定する構成を採る。

【0016】この構成によれば、セクタ間のハンドオーバーにおいて、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0017】本発明のハンドオーバー制御方法は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値より小さくなった場合にのみ、複数の制御チャネル信号の受信品質を測定して、受信品質を示す値が最大となる制御チャネル信号を選択することにより、選択された制御チャネル信号が割り当てられているセクタへハンドオーバーするようにした。

【0018】この方法によれば、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値より小さくなった場合にのみ比較選択動作を行うため、現在受信している制御チャネル信号が十分な受信品質を保っている間は比較選択動作が行われないうので、無駄な選択動作および不要なハンドオーバーが行われなくなり、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0019】

【発明の実施の形態】本発明の骨子は、現在受信している制御チャネル信号が十分な受信品質を保っている間は、複数の制御チャネル信号の受信品質を比較することによるセクタの選択動作（以下、「比較選択動作」という。）を行わないようにすることである。

【0020】以下、本発明の実施の形態について、図面

を参照して詳細に説明する。

（実施の形態1）本実施の形態に係る移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法は、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値よりも小さくなった場合にのみ比較選択動作を行うものである。

【0021】図1は、本発明の実施の形態1に係る移動体通信端末装置に搭載される無線受信装置の概略構成を示す要部ブロック図である。なお、以下の説明では、受信品質を示す値として受信SIR（Signal to Interference Ratio）を用いた場合について説明するが、これに限られるものではなく、受信品質を示す値は、受信レベル等、受信品質を示せる値であればいかなる値であってもよい。

【0022】図1において、無線受信部102は、アンテナ101を介して受信された信号に対して所定の無線処理を施す。逆拡散部103は、各セクタに対応して複数用意され、受信信号を各セクタに割り当てられた拡散コードにて逆拡散する。合成部104は、逆拡散された受信信号のうちユーザーデータ部分の信号を最大比合成する。復調部105は、ユーザーデータ部分の信号に対して所定の復調処理を施す。これにより、受信データが得られる。

【0023】一方、測定部106は、所定のタイミングで、逆拡散された受信信号のうちの制御チャネル信号につき受信SIRを測定する。また、測定部106は、現在選択しているセクタに割り当てられた制御チャネル信号の受信SIRが所定のしきい値よりも低くなった場合にのみ、複数の制御チャネル信号の受信SIRを測定する。なお、制御チャネル信号は、止まり木チャネル信号等であり、各セクタごとに割り当てられた固有の拡散コードによって拡散されている。

【0024】選択セクタ保持部107は、現在選択しているセクタを示す情報を保持する。セクタを示す情報とは、例えば各セクタに割り当てられた固有の番号等である。比較部108は、現在選択しているセクタに割り当てられた制御チャネル信号の受信SIRと、記憶部109に設定された受信SIRの所定のしきい値とを比較する。なお、所定のしきい値は、制御チャネル信号の所望の受信品質が満たされなくなる境界の値として適宜設定される。

【0025】選択部110は、所定のタイミングにおいて、現在選択しているセクタに割り当てられた制御チャネル信号の受信SIRが所定のしきい値よりも低くなった場合にのみ、測定された受信SIRのうち最大の受信SIRを示す制御チャネル信号を選択し、その選択された制御チャネル信号を逆拡散した逆拡散部103を選択する。

【0026】次いで、上記構成を有する移動体通信端末装置の動作について説明する。図2は、本発明の実施の

形態１に係る移動体通信端末装置の動作を説明するためのフロー図であり、図３は、本発明の実施の形態１に係るハンドオーバ方法における制御チャネル信号の受信ＳＩＲの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図である。

【００２７】図２のフロー図に示す一連の動作は、図３に示す所定のタイミングも１～も６においてそれぞれ行われる動作である。また、移動体通信端末装置においては、現在セクタ１に割り当てられた制御チャネル信号を選択しているものとする。なお、以下の説明では、セクタ１に割り当てられた制御チャネル信号を「セクタ１の信号」といい、セクタ２に割り当てられた制御チャネル信号を「セクタ２の信号」というものとする。

【００２８】まず、ステップ（以下、「ＳＴ」と省略する。）２０１において、測定部１０６が、選択セクタ保持部１０７を参照する。そして、測定部１０６は、現在選択しているセクタ（今、ここではセクタ１）を示す情報に従って、制御チャネル信号（今、ここではセクタ１の信号）の受信ＳＩＲを測定し、測定結果を比較部１０８へ送る。

【００２９】次いで、ＳＴ２０２において、比較部１０８が、現在選択している制御チャネル信号の受信ＳＩＲと、記憶部１０９に設定された所定のしきい値とを比較し、比較結果を測定部１０６へ送る。比較の結果、現在選択している制御チャネル信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値以上の場合には、測定部１０６は、以降の処理を中止する。すなわち、現在選択している制御チャネル信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値以上の場合には、移動体通信端末装置は比較選択動作を行わないことになる。

【００３０】一方、ＳＴ２０２において、現在選択している制御チャネル信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値より小さくなった場合には、ＳＴ２０３において、測定部１０６が、複数の制御チャネル信号（今、ここでは、セクタ１の信号とセクタ２の信号）の受信ＳＩＲをそれぞれ測定し、測定結果を選択部１１０へ送る。

【００３１】次いで、ＳＴ２０４において、選択部１１０が、ＳＴ２０３での測定結果に従って、最大の受信ＳＩＲとなる制御チャネル信号を選択する。そして、選択部１１０は、選択結果に従って、選択セクタ保持部１０７に保持された情報を更新するとともに、選択した制御チャネル信号を逆拡散した逆拡散部１０３を選択し、処理を終了する。従って、比較選択動作は、現在選択している制御チャネル信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値より小さくなった場合にのみ行われることになる。

【００３２】上記動作が行われる結果、比較選択動作が行われるタイミングおよび選択されるセクタは図３に示すようになる。図３において、●印で示した点は、現在受信している制御チャネル信号であるセクタ１の信号の受信ＳＩＲが測定されるタイミングを示しており、○印で示した点は、セクタ２の信号の受信ＳＩＲが測定され

るタイミングを示している。

【００３３】図３に示すように、移動体通信端末装置は、現在受信している制御チャネル信号であるセクタ１の信号の受信ＳＩＲがしきい値以上にある場合、すなわち現在受信している制御チャネル信号の受信品質が十分保たれている場合には、比較選択動作を行わない。従って、セクタ間のハンドオーバも行われない。具体的には、も１～も４では、セクタ１の信号の受信ＳＩＲがしきい値以上にあるため、比較選択動作は行われず、従って、セクタ間のハンドオーバも行われない。よって、移動体通信端末装置が選択しているセクタは、も５までセクタ１で維持される。

【００３４】そして、も５において、セクタ１の信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値より小さくなって初めて、セクタ１の信号の受信ＳＩＲとセクタ２の信号の受信ＳＩＲとが比較され、受信ＳＩＲの大きいセクタ２の信号が選択され、セクタ２へのハンドオーバが行われる。それ以降は、セクタ２の信号の受信ＳＩＲが、所定のしきい値より小さくなるまで、比較選択動作は行われない。

【００３５】このように、本実施の形態に係る移動体通信端末装置およびハンドオーバ制御方法によれば、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値より小さくなった場合にのみ比較選択動作を行うため、現在受信している制御チャネル信号が十分な受信品質を保っている間は比較選択動作が行われないので、無駄な選択動作および不要なハンドオーバが行われなくなり、ハンドオーバ制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【００３６】（実施の形態２）本実施の形態に係る移動体通信端末装置およびハンドオーバ制御方法は、実施の形態１とはほぼ同一の構成を有し、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上の場合には、回目のタイミング以降の所定の回数、制御チャネル信号の受信品質を測定しない点において異なる。

【００３７】図４は、本発明の実施の形態２に係る移動体通信端末装置に搭載される無線受信装置の概略構成を示す要部ブロック図である。なお、実施の形態１と同一の構成には同一の符号を付し、詳しい説明は省略する。

【００３８】カウンタ４０１は、制御チャネル信号の受信ＳＩＲが所定のしきい値以上となって測定部１０６がそれ以降の測定タイミングにおいて制御チャネル信号の受信ＳＩＲを測定しないときに、その測定しない測定タイミングの回数を数えるためのカウンタである。

【００３９】次いで、上記構成を有する移動体通信端末装置の動作について説明する。図５は、本発明の実施の形態２に係る移動体通信端末装置の動作を説明するためのフロー図であり、図６は、本発明の実施の形態２に係るハンドオーバ方法における制御チャネル信号の受信Ｓ

IRの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図である。なお、図5において、実施の形態1と同一の動作となるステップには同一の符号を付し、詳しい説明は省略する。

【0040】図5のフロー図に示す一連の動作は、図6に示す所定のタイミングも1〜6においてそれぞれ行われる動作である。

【0041】まず、ST501では、測定部106が、カウンタ401の値を参照する。そして、カウンタ401が「0」になっている場合には、ST201において、測定部106が、現在選択している制御チャネル信号の受信SIRを測定する。一方、カウンタ401が「0」になっていない場合には、ST502において、測定部106が、カウンタ401を1つ減少させ、処理を終了する。

【0042】次いで、ST202において、比較部108が、現在選択している制御チャネル信号の受信SIRと所定のしきい値とを比較する。その結果、現在選択している制御チャネル信号の受信SIRが所定のしきい値以上の場合には、ST503において、測定部106が、カウンタ401に所定の回数を設定し、処理を終了する。ここで、所定の回数とは、測定部106が制御チャネル信号の受信SIRを測定しない測定タイミングの回数であり、この所定の回数を適宜変更することにより、制御チャネル信号の受信SIRを測定しない測定タイミングの回数を任意に調節することができる。具体的には、所定の回数を「1」に設定すると、現在選択している制御チャネル信号の受信SIRが所定のしきい値以上にある間は、受信SIRの測定が1回おきの測定タイミングにて行われることになる。従って、所定の回数を「1」に設定すると、受信SIRの測定頻度をほぼ半減させることができる。

【0043】一方、ST202において、現在選択している制御チャネル信号の受信SIRが所定のしきい値より小さくなった場合には、ST203において、測定部106が、複数の制御チャネル信号をそれぞれ測定し、測定結果を選択部110へ送る。

【0044】上記動作が行われる結果、制御チャネル信号の受信SIRの測定が行われるタイミングは図6に示すようになる。図6において、●印で示した点は、現在受信している制御チャネル信号であるセクタ1の信号の受信SIRが測定されるタイミングを示しており、○印で示した点は、セクタ2の信号の受信SIRが測定されるタイミングを示している。

【0045】今、初期状態として、カウンタ401が「0」になっているものとする。も1ではセクタ1の信号の受信SIRが所定のしきい値以上のため、カウンタ401に所定の回数（今、ここでは「1」とする。）が設定される。従って、セクタ1の信号の受信SIRが所定のしきい値以上となったも1以降においては、セクタ

1の信号の受信SIRが所定のしきい値より小さくなるまで、受信SIRの測定は1回おきのタイミングにて行われることになる。よって、次回セクタ1の信号の受信SIRが測定されるのは、も3のタイミングになる。

【0046】そして、も5において、セクタ1の信号の受信SIRが所定のしきい値より小さくなった場合には、セクタ1の信号の受信SIRとセクタ2の信号の受信SIRとが比較され、受信SIRの大きいセクタ2の信号が選択され、セクタ2へのハンドオーバーが行われる。それ以降は、セクタ2の信号の受信SIRが所定のしきい値より小さくなるまで、セクタ2の信号の受信SIRの測定は1回おきのタイミングにて行われることになる。

【0047】このように、本実施の形態に係る移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法によれば、現在受信している制御チャネル信号の受信品質を示す値が所定のしきい値以上の場合には、回次のタイミング以降の所定の回数、制御チャネル信号の受信品質を測定しないため、実施の形態1に比べ、さらに、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0048】なお、上記実施の形態1および2に係る移動体通信端末装置およびハンドオーバー制御方法を、アイドルハンドオーバーに適用することも可能である。ここで、アイドルハンドオーバーとは、移動局が待ち受け時に制御チャネル信号を観測し、所属するセルまたは所属するセクタの選択を随時行うハンドオーバーである。適用した場合、アイドルハンドオーバー時において、ハンドオーバー制御にかかる処理を減少させることができるとともにバッテリーセービングを図ることができる。

【0049】また、上記実施の形態1および2に係る移動体通信端末装置では、制御チャネル信号の受信SIRを測定しない間は、無線受信装置を動作させずにスリープさせるようにしてもよい。

【0050】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ハンドオーバー制御における不要な処理を減少させてバッテリーセービングを図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1に係る移動体通信端末装置に搭載される無線受信装置の概略構成を示す要部ブロック図

【図2】本発明の実施の形態1に係る移動体通信端末装置の動作を説明するためのフロー図

【図3】本発明の実施の形態1に係るハンドオーバー方法における制御チャネル信号の受信SIRの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図

【図4】本発明の実施の形態2に係る移動体通信端末装置に搭載される無線受信装置の概略構成を示す要部ブロック図

【図5】本発明の実施の形態2に係る移動体通信端末装置の動作を説明するためのフロー図

【図6】本発明の実施の形態2に係るハンドオーバー方法における制御チャネル信号の受信SIRの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図

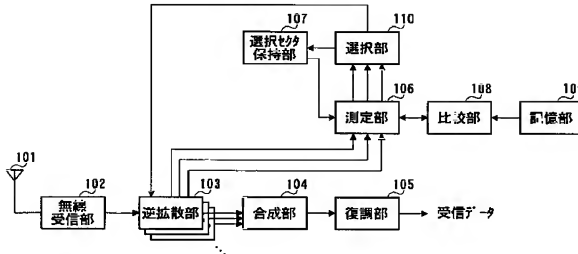
【図7】無線通信システムのセルおよびセクタの概念図

【図8】従来のハンドオーバー方法における制御チャネル信号の受信レベルの変動状態とセクタの選択状態との関係を示す図

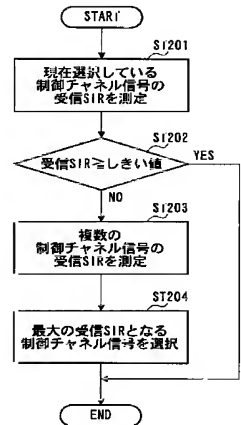
【符号の説明】

- 103 逆拡散部
- 106 測定部
- 107 選択セクタ保持部
- 108 比較部
- 109 記憶部
- 110 選択部
- 401 カウンタ

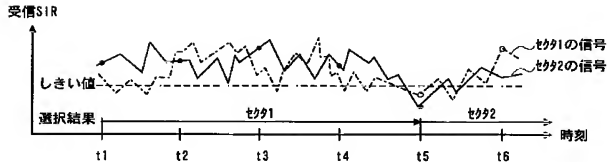
【図1】



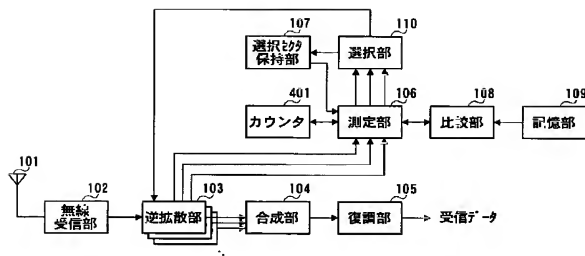
【図2】



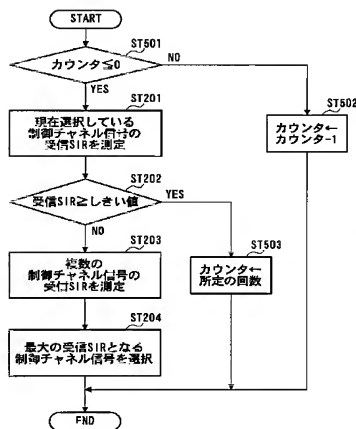
【図3】



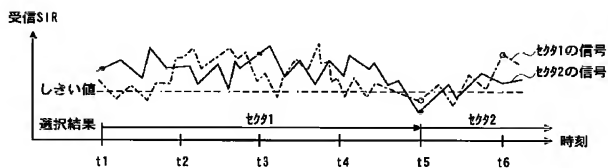
【図4】



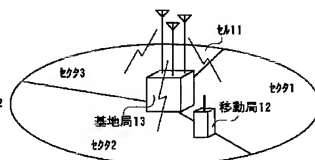
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

